

## 中学年の取組 2

### ① 3年生「重なりに目をつけて」【図を使って考える】(1/1時間)

<主張点>

- 導入で、1mものさしの重なる部分を最初は隠して提示することで、児童の関心を引き付け、意欲的に取り組めるようにする。
- 児童が数値を書き込んだり色を塗ったりして、自分の考えをかき表せるように、たっぴーシートに重なりを示したテープ図を記載しておく。さらに、そのたっぴーシートの図を指さしながら、立式の根拠をペアで説明させるようにする。
- 「重なりを最後に引く」方法を全員が理解できるようにするために、この方法は式を途中まで発表させ続きを全員に考えさせる。その際、図を用いて自分の言葉で説明させることで理解を深められるように、裏面にもテープ図を記載しておく。

過程	学習の流れ	
つかむ	<p><b>【問題提示】</b></p>  <p>重なりを最初は手で隠して見せることで、児童の意欲を高めるようにした。</p> <p>その手で持っている所があやしいです!</p>	<p><b>問題</b> 教室の入り口の高さを、1mものさしを使って測ります。高さは何cmでしょう。</p>  <p>めあて：重なりに目をつけて全体の長さを求めよう。</p>
テープ図を用いて、じっくりと考える。		
もとめる	<p><b>【自力解決：自分で考える(たっぴーシート)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たっぴーシートにテープ図を記載しておき、児童が図を使って考えることができるよう工夫した。</li> </ul>  <p>重なっている所を最初に引いて、残りを足せばできそう。</p> <p>2本のテープを足して、最後に重なりを一つ引くと…。</p> 	
ふかめる	<p><b>【共同解決：ペアや全体で考えを出し合う】</b></p> <p>●ペア学習</p>  <p>ここからここまでが80cmですよね。そして、残りの100cmを足すから答えは…。</p> <p>どうして80cmだとわかるんですか。</p>	<p>●全体で</p>  <p>ぼくは最初に、<math>100 + 100 = 200</math>をしました。</p> <p>ストップ!〇〇くんは、次にどう考えたでしょう。</p> <p>最後にこの20cmを引いたってこと?</p>
続きを考えて、交流し合う様子		
まとめる	<p><b>【まとめ・適用問題】</b></p> <p>知識として習得したことを活用する。</p> <p><b>【まとめ】</b> 重なりを引くと、全体の長さを求めることができる。</p> <p>重なりがあるときには、重なりを引いて考えるといいんだ。</p> <p>110cmのテープと90cmのテープをつなぎます。つなぎ目は20cmにします。全体の長さは何cmですか。</p>	